

## 第 62 回SSN勉強会

### 「親子で楽しめる観察フィールド」と「子どもの応急手当の方法」

山下美佐子（東金市）

日 時：2013年11月18日（月） 10:00～16:30 天候：晴れ

午前「親子で楽しめる観察フィールド」:大網白里市「やまべの郷」周辺の自然観察

案内：上田弘子氏

午後「子どもの事故でありがちな怪我などの応急手当の方法」

講師：日本赤十字社千葉県支部（救急法指導員） 高柳善江氏

場 所：大網白里市農村ふれあいセンター「やまべの郷」研修室

参加者：指導員 10 名 非会員 10 名

午前の部：大網白里市で活動されている上田さんとやまぼうし自然観察ガイドの方 10 名のご案内で、小春日和の里山を歩きました。やまべの郷は小学校跡地に建てられたようで、昔はこの小学校にもあった二宮尊徳像に見送られ出発です。しばらく歩くと、JR外房線電車が鉄橋の上を走っているのが見え、上田さん曰く、あれが「房総の余部鉄橋」です。なるほど！杉林の古道は、ウグイスが地鳴き、観音様の道祖神や古い墓地などがあり、わらじ履きで薪を背負ったいにしへの村人が見えるようでした。クジラのお腹の中に入ったようなピノキオトンネル（やまぼうしの会命名）を抜けると、金色に実ったミカン畑が。アキアカネやオオアオイトトンボ、カントウヨメナ、ホトトギスを観察しながら、またトンネル抜けたら出発地やまべの郷でした。4km 弱の里山歩きでしたが、過ぎ去った昔へタイムスリップしたかのような 2 時間でした。



午後の部：日本赤十字社の講師の方から子どもたちとの自然観察時におけるけがや熱中症、虫刺されなどの対処法を聞いたのちに、実際に包帯の巻き方や AED の使い方について実習しました。包帯の巻き方は、三角巾で頭やひざの傷、捻挫などの巻き方を教わりました。痛くない包帯の解き方には目からうろこでした。AED の使用方法では、人工呼吸の正しい吹込み方が実感できて良かったです。



このような救急法は過去に何度か講習を受けていましたが、機会があれば何度も実習をしておくことが突然の救急にあわず対応できると痛感しました。